

# コミュニティ壬生野 第32号

壬生野地域まちづくり協議会広報

2007(平成19)年12月1日発行

## 各委員会の近況報告

### 防犯実行委員会より

#### 1 住民自治研修会での報告について

11月10日三重県伊賀庁舎7階会議室で住民自治研修が開かれ、山本会長、田中副会長、森川事務局長が参加しました。壬生野地域まちづくり協議会では、防犯実行委員会に関わる『各種団体の連携強化による地域の総合的防犯システム』を報告しました。

報告内容の骨子は、1、壬生野地域の概要 2、地域防犯実行委員会 3、青色回転灯装備車によるパトロール 4、防犯ネットワーク会議との連携 5、活動の問題点 6、今後の課題 7、壬生野地域まちづくり協議会の活動状況などです。

#### 2 青色回転灯装備車によるパトロールについて



青色回転灯装備車による防犯パトロールは、市長からの委嘱状と警察の講習による許可証が必要です。今まで2年間の委嘱期限が終わったので継続、新規委員を募り、31名の会員を得ることができました。そこで、今年11月はじめに手続きを経て、11月21日には、新しく構成されたパトロール隊の会議がありました。

会議の冒頭、田中清司防犯委員長から、「昨年比べて、青色回転灯装備車によるパトロールの実施地区では犯罪が少なくなっている」ことが話されました。

また、今後とも「地域の各団体との連携が必要である」と述べられ、「今までの方法に拘ることなく、忌憚のない意見を」とパトロール隊への協力をお願いされました。

委嘱状を受けた後、森川事務局長より、パトロール委員の名簿やパトロール範囲の地図が配布され、具体的なパトロールの班編成が提案されました。質問には、「不審者や犯行に出くわした時はどうするのか」があり、「その時は、上野警察 0595-21-0110 か 0595-22-0007 に通報、連絡する」ということでした。

ご苦労様ですが地域の防犯のための活動よろしくお願ひします。

# 壬生野地域自主防災実行委員会より

自主防災の認識をあらたに

壬生野地域まちづくり協議会では、すでに、コミュニティ壬生野でも何回かお知らせしていますように壬生野地域の自主防災に取り組み始めました。近年に想定されている、南海・東南海・東海地震だけでなく、今年4月に、亀山を震源地とした地震のように内陸型地震への備えも必要な地域となっています。この地域でも、斜面崩壊による建物倒壊や橋の落下、液状化による危険度もあるとされています。

壬生野地域まちづくり協議会自主防災委員会では、自主防災の講演会を開催したり、各地区の取り組みの情報交換を行い、少しでも、地域全体の皆さんの地震への認識を深めてもらう為の取り組みを行っています。

一つは、防災マップづくりです。命を守るために家族の安否はもとより、隣近所の安全確保のための避難場所、実際に遭遇した時の指定避難場所、あるいは避難経路、火災が発生した時の対策につながる消火栓の位置などの確認をマップに記していきたいと思えます。

二つは、防災アンケートを各世帯ごとにお願ひします。このアンケートは、ご講演をいただいた、三重大学災害対策プロジェクト室・川口研究室から出されたものです。実施によって、各家での地震に対しての各自の対策に生かせると同時に、アンケートを集約し、大学の研修室で集計・分析を行ってもらい、この地域としての強い点、弱い点を見出してください、皆さんに結果を報告し今後の取り組みにしていきたいと思えます。



## 生活環境委員会より

12月16日予定のクリーン作戦

壬生野小学校の皆さんに描いてもらった環境をテーマにした、ごみ捨て防止ポスターの看板が壬生野地域20ヶ所に立っています。

秋も深まり、真っ赤に熟した木の実、紅葉した野山の自然を眺めながら、たて看板と周辺を見回りました。たて看板の側にごみの袋、空缶があるのに驚きです。少し入り込んだ所には粗大ごみもありました。ポイ捨てされた空缶、ビニール袋・風で寄ったのか側溝にも落ちています。子どもたちが素直な気持ちで『地球を汚さないで』と絵にしてくれています。どうして捨てるの？と情けなくなりますネ・・・

皆が、故郷を思い次の世帯へと引き継ぐためにも、小さな事かもしれませんが、一人ひとりが気をつけきれいな町にしていきたいです。

来る12月16日も環境美化（クリーン作戦）を実施します。ご協力よろしくお願ひします。





## もみじ祭りが開催されました

去る11月3日、白藤滝上流の道広場で恒例の「白藤滝保勝会」主催の「もみじ祭り」が好天のなか開催されました。各テントでは、壬生野地域のひとたちが力を出し合って食べ物づくりに励みました。他にも特産物の販売のご協力もありました。お互いの作ったものを交換して食べあうなど地区間の交流にもなりました。催しとして歌手3人の歌謡ショー、参加者とのデュエット、中高生「忍風」の踊りなどがありました。



歌手とデュエット



「忍風」のダンス



「おいしいなあ」

## 長島愛生園訪問研修よりⅢ

先月号に引き続き、長島愛生園訪問研修についてお伝えします。今回は、ハンセン病を正しく理解するために、ハンセン病国立療養所長島愛生園の概要を紹介します。

長島愛生園は、国立療養所第1号として昭和5年に開設されました。最初の入園者は、東京・多摩全生園の入園者たち85名で、陸路の輸送はパニックが予想されたので、大阪港・天保山より海路上陸しました。

これらの人達は光田園長が多摩全生園在職中に、各作業場より選りすぐった者たちで開拓患者と呼ばれ、愛生園の所内作業の先頭に立ちました。この病気に一番多いL型患者は、相当重症であっても体力を保持していたので、所内作業の主力となって、この地に自分たちの楽土を建設するのだという意欲に燃えて励みました。大風子油以外には治療方法がなく、故郷から追われてきた者にとって労働は悲しみを忘れさせ、エネルギーのはけ場ともなり、小遣い銭稼ぎに欠かせぬものであり、目の不自由な人もその作業に参加しました。少ない職員で療養所を運営しようとする施設にとっても、またとない労働力でした。

いわゆる15年戦争が進行していく中で、療養所も自給自足体制に追い込まれ、労働は荷重となり栄養失調と重なって、症状の増悪・肺結核・腎機能障害などによる死亡が相次ぎ昭和20年には死亡率が22.5パーセントと高くなっています。



### 研修の概要

開催日：9月24日 参加者：23名

目的：ハンセン病患者に対する過去の誤った隔離政策やハンセン病に対する根強い偏見が今も残っていることを知るとともに、様々な人権問題に触れ、自分の差別意識を見直し、壬生野地域の啓発につなげていきます。

企画：人権同和合同委員会

戦後、東大教授石館博士によって特効薬「プロミン」が開発され、症状は大きく改善され、不治から解放されましたが、入園者達の生活に変化はありませんでした。それは「らい予防法」があったからです。強制収容するための恐怖宣伝による偏見と差別意識の温存、また終生隔離を前提とした結婚制度、家族との絶縁が長期間続いたため社会復帰は絶望的なものとなりました。

## 中国からの農業技術交流を受入れて

11月8日、9日に中国北京市農業科学技術院の農業指導員ら6名の方々の訪問を受入れました。この交流は、一昨年にヤマギシの循環農法を知った中国北京市社会科学院の幹部が、詳しく知りたいと春日山を参観に訪れたことから始まりました。中国では化学肥料による環境汚染や、連作による土壌障害、都市と農村の格差などが大きな問題になっていて、今後の農業のあり方として循環有機調和型農業を目指して研究・試験が始まっています。実際に世界各地で実践されて



いる農業の中から4つの循環調和型農業をモデルとしていて、その1つが日本のヤマギシの循環農法だということです。昨年からの参観受入れの他、農学博士が発酵肥料の研究のために滞在したり、北京市でヤマギシの展示会や講演会が行われたりと、交流が進んでいます。

今回来訪された一行は北京市郊外の農家に技術指導をしている人たちで、参観の後の懇談会でも質問が続出し、熱心な話し合いが夜遅くまで続きました。地球環境にも大きな影響を与える中国農業の今後に、手助けをすることができれば、と願っています。(川添正洋 談)

## ときめきサロン

土曜日の午前中は、まちづくり協議会の事務所（壬生の里 2階）へお出かけ下さい。

図書の貸し出しをします。お茶やコーヒーを飲みながら、楽しくおしゃべりなどもしませんか。是非、子どもさんも一緒に“くつろぎの場”としてご活用下さい。

12月のお世話をさせて頂く担当者は、下記の通りです。(8:30~12:00)

1日(土)	岸幸雄、五百田佳子、北出律子
8日(土)	福森晋、福島裕美子、福岡光善
15日(土)	亀井亮治、福森和子、三根久美子
22日(土)	森川幸生、北村節子、河野實

## お知らせ

**賀正**

「賀正」の張り紙



師走にはいり、何かと忙しくなってきました。賀正の張り紙を壬生野地域まちづくり協議会で用意し配布いたしました。この張り紙は枚数に余裕がありますので、何枚か必要な方は、協議会事務所まで連絡ください。

## 編集後記

11月3日に滝山溪谷で開催された「もみじ祭り」にバザー（ゆで卵）のスタッフとして参加しました。お好み焼き、焼き芋、焼きそば、ぜんざい、ラーメンと体は大喜び、心はプロの歌声、旧友との再会、晴天の秋のもみじで癒され超充実。来年も行こう！！

細野 仁

◇◇◇ご意見・お問い合わせは下記までお寄せ下さい◇◇◇

発行 壬生野地域まちづくり協議会 広報公聴実行委員会

事務局 三重県伊賀市川東 1659-5 壬生野福祉ふれあいセンター内

Tel・Fax 0595(45)6270 E-mail [tokimeki@ict.ne.jp](mailto:tokimeki@ict.ne.jp) URL <http://www.mibuno.net>